

【福岡女学院教会 主日家庭礼拝】

2024. 11. 17.

降誕前 第6主日

黙想(黙禱)

招詞 もはや、ユダヤ人もギリシヤ人もなく、奴隷も自由人もなく、
男も女もない。
あなたがたは皆、キリスト・イエスにあって一つだからである。
(『讃美歌21』93-1-9)

讃美歌 23 (イエスよ、われを顧みたまえ)

主の祈り

讃詠 28 (み栄えあれや)

聖書 使徒言行録 28章11節～16節
(新約 270頁)

信仰告白 使徒信条

メッセージ 「ローマに到着したパウロ」 多田玲一牧師

祈禱 ※それぞれ自由にお祈り下さい

讃美歌 73 (主よ、平和のうちに)

頌栄 24 (たたえよ、主の民)

黙想(黙禱)

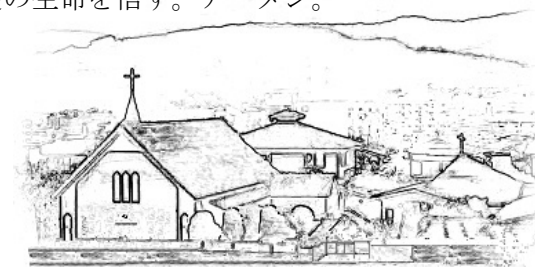
◎ 讃美歌は歌詞を読むだけでも結構です。

【主の祈り】 (『讃美歌21』93-5-A)

天にまします我らの父よ、ねがわくはみ名をあげさせたまえ。
み国を来(きた)らせたまえ。
みこころの天になるごとく 地にもなさせたまえ。
我らの日用(にちよう)の糧(かて)を、今日も与えたまえ。
我らに罪をおかす者を我らがゆるすごとく
我らの罪をもゆるしたまえ。
我らをこころみにあわせず、悪より救い出(いだ)したまえ。
国とちからと栄えとは 限りなくなんじのものなればなり。
アーメン

【信仰告白 使徒信条】 (『讃美歌21』93-4-A)

我は天地の造り主、全能の父なる神を信ず。
我はその独り子、我らの主、イエス・キリストを信ず。
主は聖霊によりてやどり、処女マリヤより生れ、
ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、
十字架につけられ、死にて葬られ、陰府にくだり、
三日目に死人のうちよりよみがへり、
天に昇り、全能の父なる神の右に坐したまへり、
かしこより来りて、生ける者と死ねる者とを審きたまはん。
我は聖霊を信ず、聖なる公同の教会、聖徒の交はり、罪の赦し、
身体のよみがへり、永遠の生命を信ず。アーメン。



日本基督教団 福岡女学院教会

牧師 多田玲一

協力牧師 青木麻里子、大島一利

〒811-1321 福岡市南区柳瀬1丁目41-32

TEL 092-591-5627 (Fax 兼)

教会ホームページ [http:// www.fukujoch.com/](http://www.fukujoch.com/)

(教会創立 1946年6月2日)



1 1月17日 使徒言行録 28章11節～16節

◆ローマ到着

- 11 三か月後、わたしたちは、この島で冬を越していたアレクサンドリアの船に乗って出航した。ディオスクロイを船印とする船であった。
- 12 わたしたちは、シラクサに寄港して三日間そこに滞在し、
- 13 ここから海岸沿いに進み、レギオンに着いた。一日たつと、南風が吹いて来たので、二日でプテオリに入港した。
- 14 わたしたちはそこで兄弟たちを見つけ、請われるままに七日間滞在した。こうして、わたしたちはローマに着いた。
- 15 ローマからは、兄弟たちがわたしたちのことを聞き伝えて、アピイフォルムとトレス・タベルネまで迎えに来てくれた。パウロは彼らを見て、神に感謝し、勇気づけられた。
- 16 わたしたちがローマに入ったとき、パウロは番兵を一人つけられたが、自分だけで住むことを許された。

※聖書は本文は全て、日本聖書協会『聖書 新共同訳』